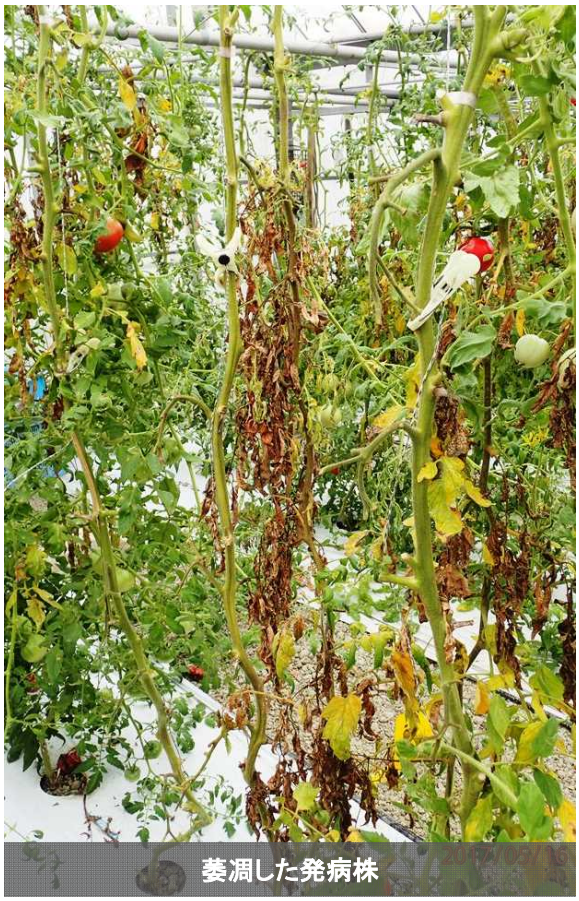
平成29年度病害虫発生予報第3号（6月予報）

＜今月のコラム＞　・ナスミバエの防除対策について
・台風の発生と沖縄への接近について

＜お知らせ＞　さとうきびにおけるメイチュウ類の発生推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/meichu.html
マンゴーにおけるチャノキイロアザミウマの発生推移について以下URLに掲載しています。
http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/byogaichubojo/documents/chanoki.html

今月のトピックス

白絹病（トマト）
学名：*Sclerotium rolfsii*


萎凋した発病株


茎を取り巻きくびれた病斑部


菌糸に形成された多数の菌核

生態と被害

本病は茎の地際部に発生する糸状菌による病害で、初めに黒褐色のややくぼんだ病斑を生じ、その病斑が拡大して茎を取り巻きくびれる。その後、病斑上に白色絹糸状の菌糸を生じ、そこに多数の菌核を形成する。菌核は直径薬0.3～2㎜のほぼ球形で、初めは白色だが成熟するにつれて黄白色～褐色に変化する。成熟した菌核は菌糸から離れやすく、周囲へ散乱し土壌表面にも多数確認される。発病株は生育不良となり、萎凋・枯死する。

病原菌は被害植物の残さや菌核で生存し伝染源となる。発病適温は25～35℃で、高温多湿時に発生する。また、土壌表面近くに未熟の有機物を多量に施用すると発生しやすい。防除方法としては、被害株を周辺の土壌とともに取り除いて焼却し、天地返しや太陽熱消毒を行うと効果が期待できる。また、イネ科作物と輪作すると本病の発生が少なくなる。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成29年5月26日
沖 縄 県 病 害 虫 防 除 技 術 セ ン タ ー